



あの時のあの場所、今は…／セシオン杉並のイチョウ並木

みどり探訪／覚蔵寺のみどり

緑の歳時記／ノボロギク

みどりの窓／みどりのベルトづくり講演案内

緑地保全方針の策定

「みどりのボランティア杉並」会員募集

特集／「落ち葉感謝祭2014」開催

園芸ワンポイント／モッコウバラ

あの時のあの場所、今は…

セシオン杉並のイチョウ並木

青梅街道と環七通りが交わる高円寺陸橋下交差点。その環七通りの西側歩道を少し南下すると、セシオン杉並のユニークな建物沿いに立派なイチョウ並木が目飛び込んできます。イチョウ並木はさらにセシオン杉並の南面にもスタジイを交えて連なり、見事な景観を醸し出しています。

セシオン杉並は平成元年杉並第十小学校の跡地に建てられました。並木のためとの案内板によれば、このイチョウとスタジイは小学校の開校を記念して昭和12年近隣にお住まいの方から寄贈されたものです。当時は2m足らずだった若木も、戦災による一部焼失、環七拡張に伴う移植、さらには校舎の移転と、多くの歴史を背景に現在に至っているそうです。初夏には鮮やかな新緑、晩秋には華やかな黄葉がすばらしい由緒あるイチョウ並木は、今なお道行く人々に四季を感じさせてくれます。

ちなみに、杉並第十小学校は昭和61年に農林水産省の蚕糸試験場の跡地につくられました。あわせてつくられた区立蚕糸の森公園と小学校もまた歴史を感じさせる憩いの場となっています。



みどり探訪

覚蔵寺のみどり



◀覚蔵寺山門

もすてきです。

西の通用門側には、秋に小さな黄褐色の花をつける、区内では珍しく大きく育ったシロダモやウメ、サクラ、そして青々とした竹林が俗世を忘れさせてくれ

ます。春には通りがかりの人が吸い込まれるように内覧するほどの見事さです。

北の本堂の後ろには、玉川上水第二公園に細長く面した広い墓所があります。そこにもシュロ、ソテツ、クワ、イヌマキ、イヌツゲ、ボケ、シキミ、イロハモミジ、シラカシなど数多くの植物が所狭しと植えられ、春、秋に限らず、通年お墓参りに訪れる檀家さんの目を楽しませ、心身を和ませ、癒してくれています。

花咲くころ、仕事に疲れたとき、緑の大木と静寂さに包まれ美と静が保たれたここに少しおじゃまさせていただきますはいかがでしょうか？

京 王線桜上水駅から徒歩5分、地域密着型の日蓮宗寺院があります。世田谷区に隣接し、門前には首都高速や甲州街道という環境にありながら、境内は交通至便な街なかにあるとは思えないほどの静寂さです。

南の甲州街道側から参道を入ると左手に常緑高木のカヤの木が出迎えてくれます。白い玉砂利に沿って両側に白壁が続く山門をくぐると、マツ、イチヨウ、ナンテン、ツツジ、そして本堂横には落雷にあったケヤキの大木が天高くそびえ、サワラ、マテバシイ、ヒノキが堂々と構えています。手入れの行き届いたサツキ



▲シロダモの大木

▼ヒノキ



▶落雷にあったケヤキ



緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

ノボロギク (野檻樓菊)

キク科/ヨーロッパ原産の一年草

茎 はやわらかで赤褐色を帯び、まばらに毛があり、よく分岐して高さ30cmほどになります。葉は無柄で互生し、不規則に羽根状に切れ込み、基部は耳状に茎を抱きます。頭花(※1)は黄色で筒状花(※2)からなり、暖かいところでは一年中咲いています。

明治の初めに日本に入り、現在では各地でごく普通に見ることができます。杉並区内では街路樹の植込み樹の中でよく見かけます。

名前はボロギク(サワギク)に似て野に生え、花の終わった後、そう果(※3)の冠毛(※4)が開いて綿状になり、それがぼろくずのように見えるためつきました。

- (※1) 頭花…数個から数百個の小花が集まって1個の花に見える形の花
- (※2) 筒状花…筒状の細い花
- (※3) そう果…果皮と種子がくっついてしまった果実
- (※4) 冠毛…種を飛ばすために付いている毛状のもの



みどりをベルトのようにつなげよう！

みどりの ベルトづくり

『みどりのベルトづくり』は、公園や道路などの「公共のみどり」と「家前のみどり」をベルトのようにつなげる取り組みです。

心地よいまちをつくるために、個々のお店やお宅の接道部を樹木や花を組み合わせることで、『みどり』がつながり、まち全体の景観を形成することができます。

「お住まいの地域でこれからみどりを増やしたいとお考えの方」…
「みどりをきっかけとしたコミュニティづくりに興味がある方」…
ご家族やお友達とご一緒にぜひ、お越しください！
皆様のご参加をお待ちしています！

開催日

2015年 **3月1日** (日)

14:00~16:00 (13:30開場)

場 所：永福和泉地域区民センター 第1・2集会室
杉並区和泉3丁目8番18号

参加費：無 料

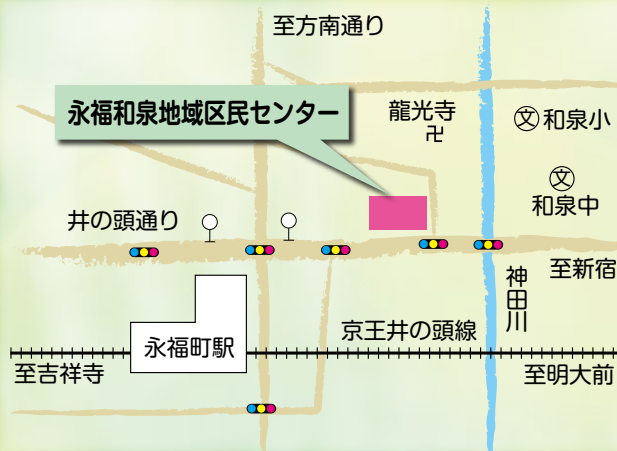
定 員：60名 (先着順となります)

※申込みは不要です。直接会場へお越しください。



Before

After



問い合わせ先 / 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

杉並区役所みどり公園課みどりの計画係

TEL: 03-3312-2111 内線3593

FAX: 03-5307-0697

杉並区緑地保全方針を策定しました

杉並区のみどりは、杉並の原風景といえる屋敷林や農地といった民有地のみどりが全体の約7割を占めています。このまとまりのあるみどりを後世に引き継いでいくことが、みどり豊かな住宅都市の実現には欠かせません。区では、この貴重なみどりを、重点的に保全するため、「杉並区緑地保全方針」を定め屋敷林・農地の保全を図り、周辺のみどりと相互につなげる効果的な取組を行うことで、杉並らしい風景を後世にのこし、いつまでも暮らしやすい魅力ある「みどりの住宅都市 杉並」の実現を目指します。

1. 方針の主な内容

●モデル地区での先行取組

区の中央部に位置し、一団の屋敷林・農地が存在する「荻窪一丁目・成田西三丁目地区」をモデル地区として、保全に向けた取組を行い検証します。

●「杉並らしいみどりの保全地区」の選定

区民共有の財産である屋敷林・農地の保全については「杉並らしいみどりの保全地区」を定め、モデル地区での先行取組の検証結果を踏まえて重点的に取組んでいきます。

選定基準

- みどりの顕彰表彰屋敷林※を中心とした杉並の原風景が残る屋敷林と農地が一団として残る場所を含む地区
 - 鉄道駅近くに残る希少な、みどりの顕彰表彰屋敷林が集積した場所を含む地区
- ※みどりの顕彰表彰屋敷林：平成24年度に実施。杉並の屋敷林を後世に残していくことを目的とし行われ、20か所の屋敷林が表彰対象に選ばれた。

●保全地区での取組

モデル地区での保全取組の検証結果を活かし、「杉並らしいみどりの保全地区」では以下のような取組項目を核として、それぞれの地域特性を踏まえた取組を実施していきます。

●保全制度の活用・拡充

所有者に保全制度の説明・PRを行い、その場所に適した既存保全制度の活用を図るとともに、営農活動への支援や小規模屋敷林の公開など新しい制度に取組みます。

●保全のためのまちづくり

地区計画などの導入も検討し、みどりを守り、創っていく仕組みを地域全体で構築し、屋敷林・農地が保全できるまちづくりに取組んでいきます。

●マンパワーの活用

ボランティアによる支援体制を構築するとともに、保全を支援する団体の組織化をし、地域で支える体制づくりに取組んでいきます。

●保全のためのPR・企画

夏の木陰体験や地元野菜の試食会、屋敷林・農地を巡るまち歩きマップの作成など、屋敷林や農地を身近に感じられるPR・企画をすることで大切さを理解してもらい保全に取り組んでいきます。

2. 今後のスケジュール

平成27年4月～ モデル地区での取組準備

平成28年4月～ モデル地区での取組・検証

平成30年4月～ 杉並らしいみどりの保全地区での取組

杉並区緑地保全方針の全文は、区公式ホームページ、みどり公園課、区政資料室、図書館でご覧になれます。



特集

「落ち葉感謝祭2014」

今回の「落ち葉感謝祭2014」は、11月29日に阿佐谷会場ほか区内8か所の会場で開催しました。朝は薄曇りの風のない穏やかなお天気の下で行われ、各会場では総勢約200名の多くの方に落ち葉掃きに参加していただきました。

中杉通りの会場では、今年も商店会や町会有志の方々などがお互いに声をかけ合いながら、皆さん楽しそうな笑顔で落ち葉掃きをされていました。

お昼前からはあいにくの雨。井草森公園で行われていた落ち葉プールやツリークライミングなどの、一部のイベントが途中で中止となってしまい、少し残念な結果となりました。しかし、毎年人気のリース作りは管理事務所内で引き続き行い、多くの方たちに楽しんでいただきました。



今年も多くの方が参加されました



例年大人気のリース作りです

「みどりのボランティア」第11期会員募集!

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方の、きっかけの場です。会員は生活者の視点を大切にしながら、仲間と一緒に区内のみどりを守り、増やし、育てる活動を行います。

■どんな活動をするの?

区が活動内容を示すだけでなく、毎年度初めにボランティアの方々同士で話し合い、活動内容を考えていただきます。これまでの活動内容は、いこいの森や公園の維持管理、樹名板作り、本紙「みどりとひと」の発行など、みどりに関することをしています。

■いつ活動するの?

活動日は活動内容に合わせて決めていただきます。屋外での活動・話し合いは平日の昼間がほとんどですが、土・日に行われる場合もあります。活動の頻度は月3回程度です。

■どこで活動するの?

現在は、公園やいこいの森（市民緑地）での活動が主ですが、本紙「みどりとひと」を作成する際には、区内の色々な場所へ行き、取材を行っています。

■誰と活動するの?

現在は区内を南北の2グループに分けて、比較のお住まいが近い方々と活動していただいています。先輩ボランティアの方と一緒に活動しますので、初めての方も安心して参加いただけます。



お花の植付けも行っています



成田西いこいの森で腐葉土を作りました

長寿応援ポイント「地域貢献活動」対象事業

登録の申し込み

◆登録資格

区内在住・在勤・在学の方、または区内に活動場所を希望される方で、次に該当する方
○無報酬で活動できる方
○みどりに関心を持ちボランティア活動に理解と意欲のある方

◆申込方法

ハガキかファクスで、住所・氏名・連絡先と「みどりのボランティア杉並 参加希望」と書いて、みどり公園課みどりの計画係へ（「問い合わせ先」参照）

◆締切

平成27年3月11日（必着）



登録の申込後、活動までの流れ

- ①3月末～4月上旬に、説明会・登録のご案内を送付します。
- ②4月中旬に説明会を開催します。説明会当日、登録用紙に記入いただき、登録完了です。（説明会に参加できない場合は、資料を送付します。）
- ③4月下旬～5月上旬に活動がスタートします。

登録期間

会員として活動いただく登録期間は、平成27年4月～29年3月の原則2年間です。ただし、1回に限り更新できますので、最長4年間登録し、活動できます。

■問い合わせ先

みどり公園課みどりの計画係

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

Tel : 03-3312-2111(代表) Fax : 03-5307-0697



みどりに関する相談は
塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

休所日・年末年始(12/29～1/3)



モッコウバラ (バラ科)



モッコウバラは、中国西南部原産で1700年代に日本へ渡って来たといわれています。

常緑で耐寒性はやや劣りますが樹勢が強く、つる状によじのぼる一季咲きの低木です。バラの特徴であるトゲが無い

ため、庭先などでアーチやフェンスなどに用いられています。黄色い八重咲きの花がよく見られますが、芳香のある白い花もあります。

◆植付け

11月～12月と3月が植付けの適期です。苗木は、挿し木による一年生と二年生苗があります。

◆整枝・剪定

- ①剪定は、花後から7月上旬までに行い、それ以降はしません。むやみに切ると花芽がつかせません。
- ②開花枝の元の方から新芽が伸び、これに花芽分化して翌年開花するので、開花枝の2～3芽を残して切り戻します。
- ③冬は枯れ枝と混み合った細い枝やシュートは根元から

切り取ります。

- ④モッコウバラは細かく分枝した細い枝に花が咲くので、細い枝を残すように剪定します。

◆施肥

12月～1月下旬に株周りに有機質肥料を施し、花後に新梢の充実のために追肥をします。鉢植えには液肥を月に2～3回与えますが、樹勢の強い時期は、庭植え、鉢植えともに肥料を控えます。

◆水やり

庭植えは夏の乾燥期以外に水はいりません。鉢植えは土の表面が乾いたら鉢底から水が流れ出るくらいたっぷりを与え、水切れしないようにします。

◆病害虫

病害虫には強いですが、梅雨期の黒点病、アブラムシやチュウレンジバチなどの虫害には気をつけましょう。

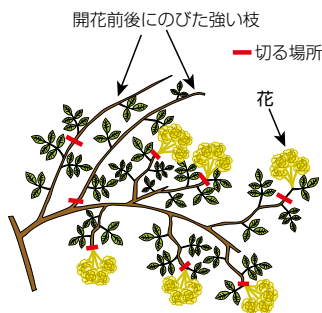
◆年間管理表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花					■							
植付け			■								■	
剪定		■				■						
施肥	■					■						■

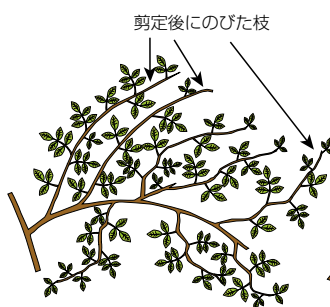
開花



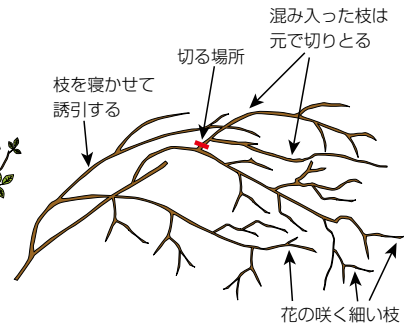
花後の剪定



剪定後



夏以降に飛び出した強い枝の処理



編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- いつも四季を感じさせてくれるセシオン杉並のイチヨウ並木。78年前に地域の方々から寄贈されたものであることを知り、「樹木に歴史あり」(羽)
- 区内の公園でもロウバイ、ソシンロウバイが咲きだし、冬の澄んだ空気の中、よい香りが漂っています。散歩には是非、梅里中央公園がお薦めです。(山)
- みどり探訪の下書き原稿の担当になり、さあ大変！超久しぶりに勉強しました。推敲を重ねて充実した時間を過ごしました。(水)
- 青々と晴れ渡った冬空に、レースの様な細い枝や堂々と手をのばしたものなど、枝の観察をするのも楽しいですね。(原)
- セシオンの並木は春の芽ぶきを楽しみに!!(三)
- みどり探訪、今号は南寄り下高井戸でしたが、23区中8位の広さの杉並！取材地が偏らないよう心掛けています。(中)
- 今年も皆様のお役に立つ記事になるよう心掛けてます。(茂)
- 勉強不足を実感しつつ、初めて原稿依頼及び取材？？に参加できました。(啓)
- 梅、ロウバイ、水仙……冷たい空気の中によい香りがふんわり、春はまだまだ遠いけれど、ちょっと元気がでる散歩道です。(朋)
- 杉並はみどりの多いことが誇りですが、これを支える人の多いのも自慢できそう。(道)



みどりの新聞 みどりとひと163号 平成27年2月20日発行

編集／みどりのボランティア

編集・発行／杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111

「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

